



はじめてのボイストレーニング



6月5日（金）「口を開けば喉も開く＝開口発声」


■ 準備体操

- 背伸び→首を前後左右に→肩の上げ下げ
- 発声練習…ウの発声で、短いウ、長いウー、上からウー、下からウー
- 早口言葉…生麦生米生卵→赤巻紙青巻紙黄巻紙
- 合唱の基礎練習

1班2班…ドの音で、ムー—

3班4班…ミの音で、ムー—

1班2班3班4班同時に、ムー—

- ドレミの歌…ソドラファミドレ  ソドラシドレド
- 栄光の架け橋… 誰にも見せない泪があった……
- 明日へ向かう人（歌詞）



悔し涙を流した時 心の奥が熱くなった 嬉し涙を流した時 胸の奥が熱くなった

季節はずれの桜のように 冬に負けない人になって 苦しい時こそ根を張って

春を待たずに咲き誇ろう

◎今日も澤先生の楽しいボイストレーニングに受講生はいい笑顔になり、楽しい時間を過ごすことができました。

◎今日の合唱の基礎練習、1班2班と3班4班のムー—は、綺麗に響いていた。



◎新しい「明日へ向かう人」に入った。心が熱くなる歌で、これからが楽しみ。

◎栄光の架け橋のサビの部分盛り上げるために、音を下げた歌っていたが、練習の成果、男声も女声もいい響きであった。

■ 班の自主活動

- 1班 ✦ 大阪大学総合学術博物館
- 2班 ✦ 緒方洪庵適塾
- 3班 ✦ 豊中市新免館
- 4班 ✦ 豊中市カラオケ



【2班の適塾見学】

地下鉄御堂筋線の淀屋橋駅で降り、東の方へ5分ばかり行くと、ビルの谷間。瓦葺の屋根があって、「史跡 ✦ 緒方洪庵旧宅及塾」と書かれた碑がたっていた。

中に入ってみると、中庭とか窓枠とか狭さが心地よく、ワクワクしました。

「昔の建物」特有の落ち着いた雰囲気を楽しめました大阪のど真ん中であって、こんなにのんびりできる所は他にはないと思いました。



適塾は緒方洪庵が開いた蘭学の塾です。～みんなどうやって、蘭学の勉強をしたんだろう～

塾生は2階にある大部屋(32畳)と小部屋(10畳)で、寝起きし、勉強した。

オランダ語の辞書(ズーフ辞書)が置いてある部屋で、何人もの塾生が引いたり、写したりしていた。

洪庵先生しかいないのに、適塾の教育はうまくいった。

塾生のうちで、よくできる者ができないものを教えたからである。

緒方洪庵は塾の先生だけでなく、医者として活躍した。

洪庵が気にかけていたのは、当時大流行していた天然痘を何とか予防したいということだった。

洪庵は天然痘のワクチンを手に入れると、町の人々に予防接種を始めた。

みんながこわがるので、予防接種の効果を知らせるビラを配り、無料で接種し続けた。

～がんばったのですね～

適塾のすぐそばに、洪庵が予防接種を行っていた場所(除痘館跡の碑)がある。

ここを拠点にして、洪庵はワクチンを全国に配り、天然痘の予防のために、力を尽くした。ここでは、今でも、洪庵の子孫が病院を開いている。

